

名古屋工業大学ごきそ技術士会設立総会での挨拶

2010.6.26

会長 末利鍊意

名古屋工業会ごきそ技術士会設立に至りました過程では、事務局長になりました田中技術士始め幹事に選ばれた方々が準備会を結成し、1年に渡って周回な準備活動をしてこられた結果でございます。又、本日までご参加頂いております名古屋工業会副理事長で大阪支部長の木越技術士は、大阪支部内に技術士委員会を設置され山本技術士が委員長となり、本年4月19日に近畿の技術士20名ほどが集まり、自己紹介と懇親を深めております。本日、めでたく全国規模での設立総会を迎えることができましたことは誠に嬉しい限りでございます。

本会は「外部に開かれた、又、楽しく、親しみやすい創造性豊かなサロン」として、気楽に集える場としたいと思っております。

会の目的は、会則第2条に記載の通り、

- ① 会員の技術の研鑽を図り、地域社会の発展に貢献する。
- ② 母校、名古屋工業大学の発展に貢献する。
- ③ 名古屋工業会の活性化と会員拡大に貢献する。
- ④ 会員相互に親睦を深める、ことであります。

具体的には、

- 1) オープンフォーラムやオープンセミナーを開催して、多くの方々に参加頂き、継続研鑽の機会を提供する。
 - 2) 名工大関係者の方々の技術的な功績を調査発掘して、フォーラムやセミナーで発表頂き、その偉大な功績を広く社会に知らしめる。又、先輩、同輩、場合によっては後輩の偉大な功績に至る課程を参考にさせて頂き、各自のやる気を喚起する。
 - 3) 名古屋工業会入会資格のある方々で技術士試験を受ける希望をお持ちの方々に受験指導する。
- などあろうかと思えます。

皆様の母校を愛するお気持ちと技術士としての自覚によって本会は支えられると思えます。本会への入会、ご協力、建設的なご意見、ご提案をお願い申し上げます。